



# ネリーズ通信

第17号 2020年12月

編集発行責任者 社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会



## ネリーズ紹介 No.14

ネリーズは日々の暮らしの中で、近隣の方たちとつながっていくことで、ゆるやかに見守りあい、誰にとっても暮らしやすい地域づくりを目指している地域の皆さんです。

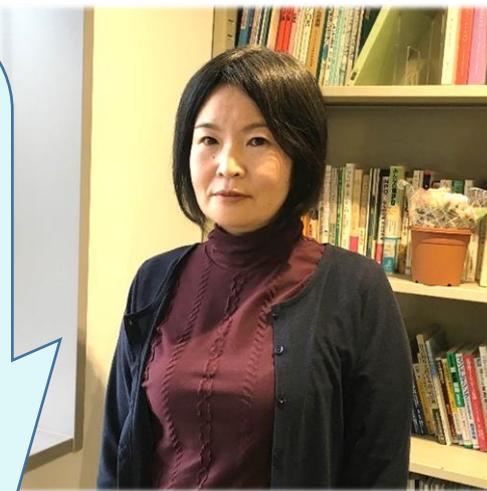
### できることをさりげなく「お困りですか？」の一声を

子育てがひと段落して、地域の中で自分ができたいと子ども関係のボランティアを2年前に始めた大須賀さん。ボランティアの相談の際にネリーズに登録されたそうです。日頃から心掛けていることについてお話をうかがいました。

人との距離感に用心しすぎてしまう時期もありましたが、最近では肩の力が抜け、街で困っている人を見かけたら「どうしました？お困りですか？」と一声かけるようになりました。

以前、電車で大泣きしている赤ちゃん、立ち抱っこで必死にあやすお母さんの姿にいたたまれなくなって声をかけたことがあります。一緒にあやしても赤ちゃんは泣き止んでくれませんでした。お母さんが電車を降りる時に小さく「ファイト！」のジェスチャーを送りました。肩をひそめる人ばかりじゃないよ、応援してるよ！のメッセージを込めて。

ほんのちよっと出来ることをサッと行動に移せるようでありたいと思います。



練馬地区  
大須賀さん



私のあの日の電車にも大須賀さんがいて欲しかった！と思わずにはいられない、そして、それぞれの人が日々の生活の中でできることがあると教えてくれたお話でした。「できることをさりげなく」の姿勢はまさに“ネリーズ”ですね。

### あなたの周りのネリーズ・活動を紹介してください！

あなた自身が行っている、または身近で見かけた暮らしやすい地域づくりをしている人、地域の良いところをネリーズ通信で紹介してみませんか？



### ネリーズほっこりエピソード募集中！



『コロナ禍で大変だけどそんな中でも笑顔になれた』等、日常の中でちょっとほっこりしたエピソードをお送りください。ネリーズ通信でご紹介させていただきます。投稿用FAX用紙を同封しました。ぜひご利用ください!!

たとえば…

コロナ禍で人に会えなかった時に手紙をもらって、とてもうれしかった。私もどうしているかちょっと気になる方に手紙を出してみました。

